

第2話 散文の物語

さまよう舟の女神

収録日：1994年10月02日

資料番号：35225B

添付CD：5-2（8分19秒）

第2話 散文の物語「さまよう舟の女神」¹

(石狩の男性が語る)

イシカツ タ アマチヒ アン ヒネ
iskar_ ta a=macihi an hine
石狩 に (私の)妻 い て

私は石狩で妻と一緒に

オカアン ペ ネ ヒケ
oka=an pe ne hike
暮らす(私) もの だ が

暮らしていました。

アマチ トウラノ アナン ペ ネ クス
a=maci turano an=an pe ne kusu
(私の)妻 と一緒に 暮らす(私)もの だ から

妻と一緒にいるので

ネプ カ アコン ルスイ カ アエ ルスイ カ
nep ka a=kor_rusuy ka a=e rusuy ka
何 も (私)持ち たい も (私)食べ たい も

何を欲しいとも食べたいとも思うこと

5 ソモ キ ノ オカアン ペ ネ クス
somo ki no oka=an pe ne kusu
ない で 暮らす(私) もの だ から

なく暮らしていましたが

パハウ ヌ クス エネ パハウ アン ヒ
pahaw nu kusu ene pahaw an hi
噂 を聞くと このような 噂だった

あるときこのような噂を聞きました。

オヤコヤク コタン オツ タ シネ メノコ
oyakoyak kotan or_ ta sine menoko
あちこちの 村 の所 に ひとり 女

あちこちの村をひとりの女性が

ヤント エトウン コロ オマナン ...
yanto etun kor omanan...
宿 を借り ながら 歩き回る

宿を借りて歩き回って…

ヤント エトウン コロ オマナン
yanto etun kor omanan
宿 を借り ながら 歩き回る

泊まり歩いている

10 メノコ アン ヒネ
menoko an hine
女 い て

女性がいて

ネ ヤント エトウン ウシケ タ レウシ コロ
ne yanto etun uske ta rewsu kor
その 宿 を借りる 所 で 泊る と

その泊まった先で

トウキ エトウン ワ
tuki etun wa
酒椀 を借り て

酒椀を借りるというのです。

1 調査年月日は1994年10月2日。アイヌ民族博物館ポロチセで開催されたアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」での口演。解説は札幌学院大学奥田統己氏。この話を始める前に「姉(木村きみ氏)が石狩の話をよくするので、石狩の話ばかりになるけれども」と前置きをしている。この話もきみ氏から聞いたという意味か。また萱野茂編著『ウエベケレ集大成』所収「トキ オルン オクイマ メノコ(杯に小便する女神)」(話者:鍋沢ねぶき) (pp.45-55)にもほぼ同じ内容の話が採録されている。

- ネ トウキ チセコロクル コレ
ne tuki cisekorkur kore
その 酒椀 家の主人 貸す
家の主人が貸した
- クンネ トウキ コロ ワ
konne tuki kor wa
黒い 酒椀 を持って
黒い酒椀を持って
- 15 チセ ソイ…シッケウン アラパ コロ
cise soy... sikkew un arpa kor
家 外 隅 に 行く と
家の隅に行つて
- オラ ネ トウキ オルン オクイマ ワ
ora ne tuki or un okuyma wa
こんど その 酒椀 の所 に 小便をし て
その椀に小便をして
- コロ ワ エキネ
kor wa ek_hine
持つ て 来 て
持って来て
- ネ チセコロクル クレ クス ネ コロ
ne cisekorkur kure kusu ne kor
その 家の主人 に飲ませようとする と
その家の主人に飲ませようとするそうです。
- エチャッケフ ワ ネン カ ク カ ソモ キ コロ
ecatkep wa nen ka ku ka somo ki kor
汚ながつ て 誰 も 飲む も しな い と
汚ながつて誰も飲もうとしないのですが
- 20 オラ コチャランケ² ワ
ora kocaranke wa
こんど 文句を言っ て
そうすると文句を言つて
- ピリカ ワ オカイ ペ コウイナ コロ
pirka wa okay pe kouyna kor
良く て ある もの を受け取り ながら
償いの品物を受け取る
- シネ メノコ オマナン コロ アン ペ ネ
sine menoko omanan kor an pe ne
一人の 女 歩き回り ながら いる もの だ
女性が歩き回つている
- セコロ アン パハウ アヌ コロ
sekor an pahaw a=nu kor
と いう 噂 (私)聞き ながら
という噂を私は聞いて
- アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
暮らす(私)もの だつた が
いました。
- 25 シネアンタ アマチヒ ソイネ アクス
sineanta a=macihi soyne akusu
あるとき (私の)妻 外に出 たところ
ある時妻が外に出ると

2 コチャランケ kocaranke は「～に談判をする」。チャランケ caranke は暴力ではなく言葉の力を使う争いの方法。お互いがそれぞれの言い分を語り合うのであるが、雄弁な方に分がある。負けた側は宝物をさし出すのが通例である。

“ソイ タ ピリカ ワ オケレ
 “soy ta pirka wa okere
 外 に それはそれは美しい

「外にとても美しい

メノコ エク ワ アン ルウエ ネ”
 menoko ek wa an ruwe ne”
 女 来 て いる の です

「女性が来ています」

セコロ ハウエアン イ クス
 sekor hawean _hi kusu
 と 言う ので

と言うので

“アアフンケ ヤク ピリカ”
 “a=ahunke yak pirka”
 (私達)入れる と いい

「お入れしたらいい」

30 セコロ… イネ
 sekor... _hine
 と して

と言いました。

ソ アムンヌパ ヒネ アフンケ。
 so a=munnu pa hine ahunke.
 床 (私)掃い て 入れる

床を掃いて家に招き入れ

ネ アフン ワ インカラ
 ne ahun wa inkar=an
 その 入っ て 見る(私)

入って来たのを見ると

ソンノ カ ピリカ メノコ
 sonno ka pirka menoko
 本当に 美しい 女

本当に美しい

アイヌ シレトク コロ カ ソモ キ ノ³
 aynu siretok kor ka somo ki no
 人間 の美貌 を持つ も しない で

神のような美しさを持つ

35 メノコ ネ ヒネ
 menoko ne hine
 女 であって

女性でした。

アフン ルウエ ネ ヒネ オラ
 ahun ruwe ne hine ora
 入る こと であって そして

入って来て

アコオンカミ カ キ ヒネ
 a=koonkami ka ki hine
 (私)に拝礼する も し て

私は拝礼をして

アン ルウエ ネ アクス
 an ruwe ne akusu
 いる こと だっ たところ

いて

3 「人間の美貌を持つものではない」というのは「神のような人間離れをした美しさの女性」を意味している。

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean_hi.
 こんど このように言った

このように言いました。

40 “イシカルン ニシパ
 “iskar un nispa
 石狩 の 旦那さん

「石狩の旦那さん

アパハウ ヌ コロ アン ナンコロ ヒ アナクネ
 a=pahaw nu kor an nankor hi anakne
 (私の)噂 聞いて いる だろう ことは

私の噂を聞いておいででしょう。

トウキ アエトウン ルスイ クス
 tuki a=etun rusuy kusu
 酒椀 (私)借り たい ので

酒椀をお借りしたいので

エカン ルウエ ネ”
 ek=an ruwe ne”
 来る(私) の です

やって来たのです」

セコロ ハウエアン ヒ クス
 sekor hawean hi kusu
 と 言う ので

と言うので

45 オラ ネ トウキ イヨッタ ピリカ トウキ
 ora ne tuki iyotta pirka tuki
 こんど その 酒椀 一番 良い 酒椀

一番良い椀を

アサンケ ヒネ アピリパピリパ ヒネ
 a=sanke hine a=pirpapirpa hine
 (私)出し て (私)何度も拭い て

出してよく拭いて

オッチケ アウン ヒネ
 otcike a=un hine
 お膳 (私)置いて

お膳の上に置いて

エネ トウキ アコレ ルウエ ネ アクス
 ene tuki a=kore ruwe ne akusu
 このように 酒椀 (私)与える こと だっ たところ

渡すと

コロ ワ アラパ ヒネ
 kor wa arpa hine
 持っ て 行っ て

それを持って

50 ソウスツ タ コロ ワ アラパ ア プ オラ
 sowsut ta kor wa arpa a p ora
 家の隅 に 持っ て 行っ た が こんど

家の隅に行きました。

エウン オチャラセ フムアシ コロ アン ア プ
 eun ocarse hum'as kor an a p
 そこへ チョロチョロと 音をさせ て い た が

そこでチョロチョロと音がしていましたが

ネ コロ ワ… ネ オラ コロ ワ エキネ
 ne kor wa... ne ora kor wa ek_hine
 その 持っ て こんど 持っ て 来 て

酒椀を持って来て

- ネ トウキ イコレ ヒ クス
ne tuki i=kore hi kusu
その 酒椀 (私)にくれる ので
私にくれたので
- アコオンカミ コロ
a=koonkami kor
(私)拝礼をし ながら
拝礼をしながら
- 55 ネ トウキ アウク ルウエ ネ アクス
ne tuki a=uk ruwe ne akusu
その 酒椀 (私)取る の だっ たところ
受け取りました。
- サケ フラ パラコサヌ ヒ クス
sake hura parkosanu hi kusu
酒 におい 広がる ので
すると酒の香りが広がったので
- ネ トウキ アウク イネ
ne tuki a=uk _hine
その 酒椀 (私)取っ て
受け取って
- アク ルウエ ネ アクス
a=ku ruwe ne akusu
(私)飲む こと だっ たところ
飲んだところ
- ピリカ サケ シサム サケ
pirka sake sisam sake
良い 酒 和人 酒
良い酒、和人の酒
- 60 トノ サケ ネ ヒネ
tono sake ne hine
殿様 酒 であって
殿様の酒でした。
- ネ サケ トウキ オロ オマ サケ ヘ
ne sake tuki or oma sake he
その 酒 酒椀 の所 に入る 酒 か
その酒椀に入った酒を
- アク ルウエ ネ アクス
a=ku ruwe ne akusu
(私)飲む こと だっ たところ
飲むと
- ネア ポン メノコ カムイ メノコ
nea pon menoko kamuy menoko
あの 若い 女 神 女
その若い女性、神のような女性は
- エアラキンネ エヤイコプンテク
earkinne eyaykopuntek
本当に 喜ぶ
とても喜んだ
- 65 ルウエ ネ ノイネ アン ア プ
ruwe ne noyne an a p
こと である ようだっ た が
ようで
- オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った
こう言いました。

“タネポ アプカサン。

“tanepo apkas=an.

初めて 歩く(私)

「初めて出歩いて

オヤコヤク タ アプカサン ルウエ ネ コロカ
oyakoyak ta apkas=an ruwe ne korka
あちこち で 歩く(私) こと だ けれど

あちこちを回っていたのですが

ネン カ アコツ トウキ エチャツケプ ワ
nen ka a=kor_tuki ecatkep wa
誰 も (私)の 酒椀 を汚がっ て

誰も私の椀を汚がって

70 ネン カ トウキ アコツ トウキ ウク ワ
nen ka tuki a=kor_tuki uk wa
誰 も 酒椀 (私)持つ 酒椀 取っ て

受け取って

イコレ カ ソモ キ ノ
i=kore ka somo ki no
(私に)くれ も しない で

くれないのです。

オマナナン ルウエ ネ ア プ
omanan=an ruwe ne a p
歩き回る(私) こと だった が

あちこちを回っていたのですが

エネ タネポ アコツ トウキ
ene tanepo a=kor_tuki
このように 初めて (私)の 酒椀

このように初めて私の椀を

イシカルン ニシパ ウク ワ イコレ
iskar un nispa uk wa i=kore
石狩 の 旦那さん 取っ て (私に)くれる

石狩の旦那さんが受け取ってくれました。

75 ク ワ イコレ”
ku wa i=kore”
飲ん で (私に)くれる

飲んでくれました」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

エアラキンネ エヤイコプンテク コロ
earkinne eyaykopuntek kor
本当に 喜び ながら

本当に喜んで

エネ ハウエアニ。
ene hawean_hi.
このように言った

このように言いました。

“アシヌマ アナクネ ネプ アイヌ
“asinuma anakne nep aynu
私 は 何も 人間

「私は人間では

80 アネ ルウエ カ ソモ ネ。
a=ne ruwe ka somo ne.
(私)である こと も ない

ないのです。

タン…イアラモイサム⁴ タ アン コタン オツ タ
 tan... iarmoysam ta an kotan or_ ta
 この 隣の川筋 に ある 村 の所 で

隣の川筋の村で

オルン クル ウタラ パ オヤン⁵…
 or un kur utar pa oyan…
 そこにいる人 達 伝染病 上陸する

伝染病が流行しました。

パ トウライラム ノ ペウレ ウタラ
 pa turayram no pewre utar
 伝染病 と同時 に 若い 人達

伝染病が来るのと同時に若い人達が

ウイマム エアラパ ワ… ヒネ
 uymam earpa wa... hine
 交易 に行っ て そして

交易に行つて

85 ウサ サケ ウサ アمام ウサ
 usa sake usa amam usa
 色々 酒 色々 穀物 色々

酒や穀物や

アミプ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
 amip ne yakka nep ne yakka
 着物 であっても 何 であっても

着物などを

コロ ワ アラキパ ルウエ ネ ア プ
 kor wa arkipa ruwe ne a p
 持つ て 来る こと だった が

持って帰って来たのですが

チプ オロ ワ ナア ヤンケパ カ
 cip or wa naa yankepa ka
 舟 の所 から まだ 上げ も

舟からまだ荷物を上げることも

ソモ キ ラポッケ ネ パ オヤン イネ
 somo ki rapokke ne pa oyan _hine
 しない うちに その 伝染病 上陸し て

しないうちにその伝染病が流行して

90 ネ ウタラ カ オピッタ アアルシテツカ。
 ne utar ka opitta a=arustekka.
 その人達 も みんな (人)滅ぼす

その人達はみんな死んでしまったのです。

アアルシテツカ ルウエ ネ ア プ
 a=arustekka ruwe ne a p
 (人)滅ぼす こと だった が

ですが

オラ ネン カ イシトマ プ ネ クス
 ora nen ka isitoma p ne kusu
 そして 誰 も 恐ろしい ものだ から

誰もが恐ろしくて

- 4 物語中に出て来る地名だが詳細は不明。語義についても、アラモイサム armoysam「山向こう」[田]、「隣の川筋」[奥]、「海沿ひに 湾の向側」[久74]と、何を挟んだ向こう側なのか、山、川、湾、と辞書により記述が異なるが、ここでは奥田辞書に従った。
- 5 伝染病の神は、昔とても恐れられていた天然痘とはじめとするウイルスなどで感染する病気の総称とされる。とても力のある神であり、海から上陸して来ると考えられていた。この話でも、交易のため舟で海を渡って行った人達が病気を持ち帰ったことを思わせる描写になっている。

オマナンパ カ ソモ キ ラポッケ オラ
 omananpa ka somo ki rapokke ora
 歩き回る も しない うちに こんど

出歩くことをせず

ネ チプ オツ タ オカ
 ne cip or ta oka
 その 舟 の所 に ある

その舟にある

95 アエプ ネ ヤッカ オピッタ
 aep ne yakka opitta
 食べ物 であっても みんな

食べ物もみんな

ウコムニン ウコホロセ カ タ オラ
 ukomunin ukohorse ka ta ora
 みんな腐る みんな傷む 上 に こんど

腐ってしまいました。

ネ アエプ ネ ヤッカ アニシカ プ カ タ
 ne aep ne yakka a=niska p ka ta
 その 食べ物 で も (私)惜しい もの 上 に

食べ物も惜しい上に

オラ コタン オルン ウタラ カ
 ora kotan or un utar ka
 こんど 村 の所 の 人達 も

村の人達も

エネ ウイマム エアラパ ワ ウサ オカイ ペ
 ene uymam earpa wa usa okay pe
 あのように 交易 に行っ て 色々 ある もの

交易に行っているいろいろなものを

100 コロ ワ アラキパ トウライラム ノ
 kor wa arkipa turayram no
 持つ て 来る と同時 に

持って来たのとたんに

オピッタ パ オヤン ワ
 opitta pa oyan wa
 みんな 伝染病 上陸し て

伝染病の神が上陸してみんな

イサンパ ヒケ カ オラ
 isampa hike ka ora
 死ん でも こんど

死んでも

ネプ カ ハルサクパ プ ネ クス
 nep ka harusakpa p ne kusu
 何 も 食糧がない もの だ から

供物がないので

カムイ トウカリ エオツ ワ オカ シリ⁶
 kamuy tukari eot wa oka siri
 神 の手前 に位置し て いる 様子

神の国の手前で足止めされるのを見て

105 アエランポキウエン。
 a=erampokiwen.
 (私)気の毒に思う

私はかわいそうに思いました。

6 供物を捧げられ供養されない者は死者の行くべき国に行けず、その国の手前で足止めをされるという考え方。

イサム ウタラ カ アエランポキウエン カ タ
 isam utar ka a=erampokiwen ka ta 死んだ人達もかわいそうな上に
 死んだ 人達 も (私)気の毒に思う 上 に

ヤイカタ アナクネ チプ カツケマツ⁶ アネ ヒネ
 yaykata anakne cip katkemat a=ne hine 私は舟の女神で
 私 は 舟 女神 (私)であって

オマナナン ルウエ ネ ヒケ
 omanan=an ruwe ne hike あちこちを回っていたのですが
 歩き回る(私) の だ が

ネン カ アコロ サケ ク カ ソモ キ ノ
 nen ka a=kor sake ku ka somo ki no 誰も私の酒を飲まないまま
 何 も (私)の 酒 飲み も しない で

110 オマナナン。
 omanan=an. さまよっていたのです。
 歩き回る(私)

タネポ アコロ サケ
 tanepo a=kor sake 今日初めて私の酒を
 初めて (私)の 酒

ネ… イシカルン クル ク ワ イコレ”
 ne… iskar un kur ku wa i=kore” あなたが飲んでくれたのです”
 その 石狩 の 男性 飲んで (私)にくれる

セコロ ハウエアン コロ エアラキンネ
 sekor hawean kor earkinne と言って本当に
 と 言い ながら 本当に

エヤイコプンテカ エヤイコプンテカ オラ
 eyaykopuntek a eyaykopuntek a ora 喜びました。
 とてもとても喜ぶ こんど

115 “ニサッタ ネ アン チキ
 “nisatta ne an ciki 「明日の朝になったら
 明日 に なる と

エウタリ エニスク ワ
 e=utari e=nisuk wa あなたの村の人に頼んで
 (お前の)村人 (お前)頼ん で

ネ コタン オツ タ エチパイェ ワ
 ne kotan or_ ta eci=paye wa そこへ行き
 その 村 の所 に (お前達)行っ て

ネ チプ オツ タ オカイ ペ
 ne cip or_ ta okay pe その舟にあるものを
 その 舟 の所 に ある もの

7 前掲書では舟の女神ではなく酒の女神とされている。白老地方で採録された類話、森竹竹市編著『森竹竹市遺稿集ウエペケル(改訂版) —アイヌ語と物語世界—』所収「小便を飲め」(pp.35-53)でもトノトカムイ tonoto kamuy (酒の神)となっている。

- オピッタ エチヤブテ ワ
opitta eci=yapite wa
みんな (お前達)陸に上げ て
みんな陸にあげて
- 120 コタン オツ タ エチコロ ワ エチパイェパ ワ
kotan or_ ta eci=kor wa eci=payepa wa
村 の所 に (お前達)持つ て (お前達)行っ て
村に持って来て
- エチアペアリ オロ タ エチシンヌラツパ
eci=apeari oro ta eci=sinnurappa
(お前達)火を焚く そこ で (お前達)先祖供養をする
火を焚いてそこで先祖供養をしてください。
- テ ワノ ポカ
te wano poka
これ から でも
これから
- カムイ オルン ネ イサム ウタラ
kamuy or un ne isam utar
神 の所 に その 死んだ 人達
死んだ人達が
- オピッタ カムイ トウカリ エオツ ワ
opitta kamuy tukari eot wa
みんな 神 の手前 に位置し て
みんなあの世に行けないで
- 125 オカ クス
oka kusu
いる ので
いるので
- カムイ オルン パイェパ クニ ネ
kamuy or un payepa kuni ne
神 の所 に 行く ように
神の国に行けるように
- カムイノミ ネ ヤ シンヌラツパ ネ ヤ
kamuy nomi ne ya sinnurappa ne ya
神へ祈る だ とか 先祖供養 だ とか
神への祈りや先祖供養を
- エチキ ワ イコレ ワ
eci=ki wa i=kore wa
(お前達)して (私に)くれて
してください。
- オラ チプ ネ ヤツカ
ora cip ne yakka
こんど 舟 であつても
そして舟にも
- 130 エチ… イナウ イコレ ワ
eci... inaw i=kore wa
木幣 (私に)くれ て
木幣を捧げ
- チプ イワクテ ヒ エチイエ コロ
cip iwakte hi eci=ye kor
舟 送る こと (お前達)言い ながら
舟神の魂を神の国に送りますと言って
- エチイワクテ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ。
eci=iwakte wa i=kore yak pirka na.
(お前達)送っ て (私に)くれる と いい よ
送りの儀式をしてください。

- オラ ネウン コタン オツ タ
 ora neun kotan or_ ta
 そして どこか 村 の所 で
 そうしたらどこかの村で
- コタン ウェン ワ
 kotan wen wa
 村 悪く て
 村に悪いことが起きて
- 135 レラカラ ネ ヤ ナ ネン ネン キ ヤツカ
 rerakar ne ya na nen nen ki yakka
 流行病にやられる だ とか まだ いろ いろ し ても
 流行病に遭うとかいうことがあっても
- エチコタヌ アナクネ アエプンキネ ワ
 eci=kotanu anakne a=epunkine wa
 (お前達の)村 は (私)守っ て
 あなたの村は私が守ります。
- ネプ トウリ ネ ヤツカ
 nep turi ne yakka
 何 及ぶ であって
 何がやって来ても
- エコタヌ アナクネ ケレ カ ソモ キ ノ
 e=kotanu anakne kere ka somo ki no
 (お前の)村 は 触る も しな い で
 あなたの村には及ぶことがない
- エチピリカコタンコロ クニ ネ
 eci=pirkakotankor kuni ne
 (お前達)良い村になる ように
 良い村であるように
- 140 カムイ オロ ワ エチ…
 kamuy or wa eci=…
 神 の所 から (お前達)
 神の国からあなた達の
- セレマク アエ… クス ネ ナ。
 sermak a=e... kusu ne na.
 背後 (私) つもり だ よ
 背後で守ってあげましょう。
- ネノ イカラ ワ イコレ”
 neno i=kar wa i=kore”
 そのように (私に)し て (私に)くれる
 そのようにしてください」
- セコロ ハウエアン。
 sekor hawean.
 と 言った
 と言いました。
- エアラキンネ
 earkinne
 本当に
 私は
- 145 アコオンカミ ア アコオンカミ ア コロ
 a=koonkami a a=koonkami a kor
 (私)何度も拝礼し ながら
 何度も何度も拝礼をし
- ネ メノコ イペ カ キ ヒネ
 ne menoko ipe ka ki hine
 その 女 食事 も し て
 その女性は食事をしました。

- ピリカ セツ アカラ ヒネ
pirka set a=kar hine
良い 寝床 (私)作っ て
- オロ タ ホツケ シリ カ アヌカラ コロ
oro ta hotke siri ka a=nukar kor
そこ で 寝る 様子 も (私)見 ながら
- ホツケアン ルウェ ネ ア プ
hotke=an ruwe ne a p
寝る(私) こと だっ た が
- 150 ニサッタ ホプニアン アクス
nisatta hopuni=an akusu
明日 起きる(私) したところ
- ネ セトツ タ
ne set or_ ta
その 寝床 の所 に
- ネ メノコ カ オアラ イサム ノ
ne menoko ka oar isam no
その 女 も 全く いない で
- ネ セトツ タ サケ オ オンタロ
ne set or_ ta sake o ontaro
その 寝床 の所 に 酒 入る 樽
- シネプ アシネ アン ヒネ
sinep as _hine an hine
ひとつ 立っ て い て
- 155 オラ クンネイワ オンカミアナアナ コロ
ora kunneywa onkami=an a an a kor
こんど 朝 何度も拝礼し ながら
- ネ サケ アウタリ アウコ… トウラノ
ne sake a=utari a=uko... turano
その 酒 (私の)村人 (私)互いに と一緒に
- アウコウサライエ ルウェ ネ ヒネ
a=ukousaraye ruwe ne hine
(私)分配する こと であっ て
- オラ タプネ ネ ヒ
ora tapne ne hi
こんど このよう である こと
- アイエ プ ネ クス
a=ye p ne kusu
(私)言う ものだ から
- 160 アウタリ イトウラ ヒネ
a=utari itura hine
(私の)村人 連れ て
- きれいな寝床を準備して
- そこで女性が眠った様子を見てから
- 私は眠ったのですが
- 翌日起きたところ
- その寝床に
- あの女性の姿はなく
- そこには酒樽が
- ひとつありました。
- 何度も拝礼をして
- その酒を村人と一緒に
- 分け合いました。
- そしてわけを
- 話して
- 村人達を連れて

- ネ イアラモイサムン パイエアン ヒネ
ne iarmoyksam un paye=an hine
その 隣の川筋 に 行く(私) して
その隣の川筋の村に行き
- オロ タ ネ チプ オツ タ オカ
oro ta ne cip or_ ta oka
そこ に その 舟 の所 に ある
そこでその舟にあった
- アエプ オピッタ アヤプテ ワ
aep opitta a=yapte wa
食べ物 みんな (私)陸に上げ て
食べ物をみんな陸に上げました。
- ネ コタン スプヤ サク ノ
ne kotan supuya sak no
その 村 煙 ない で
その村にはかまどの煙もあがっておらず
- 165 セタッコ アン コタン ネ クス
setakko an kotan ne kusu
長い間 いる 村 だ から
長い間その状態だった村なので
- オピッタ イチャラパアン コロ
opitta icarpa=an kor
みんな 供養する(私) しながら
全ての人に先祖供養をしました。
- オマナナン ネ ヤ キ コロ
omanan=an ne ya ki kor
歩き回る(私) だ とか し ながら
歩き回って
- ネ コタン アヌイエオツケ⁸ カ キ イネ
ne kotan a=nuyeoatke ka ki _hine
その 村 (私)火をつける も し て
その村に火を放ち
- トリトリ オカアン アイネ ホシツパアン。
toritori oka=an ayne hosippa=an.
一日過ごす いる(私) したあげく 帰る(私)
何日か逗留してから帰って来ました。
- 170 ネ ウサ サケ ウサ アمام ネ ヤツカ
ne usa sake usa amam ne yakka
その 色々 酒 色々 穀物 であっても
その酒や穀物であっても
- ピリカ ワ オカイ ペ アウタリ トウラノ
pirka wa okay pe a=utari turano
良く て ある もの (私の)村人 と一緒に
いいものを村人と一緒に
- アウコウサライエ ワ
a=ukousaraye wa
(私)分配し て
分け合って
- アコタヌン アルラ… イネ オカアン イケ
a=kotan un a=rura... _hine oka=an _hike
(私の)村 に (私)運ん で 暮らす(私) が
私の村へ運びました。

8 全滅した村に火をつけるという描写は散文説話でよく見られる。夜襲やその敵討ちで憎しみから火を放つというのとは別に、アイヌの社会では死者が生前に使っていたものを燃やすことによってあの世に届けられるという考え方があるので、そうした意味でも火をつけるという行為は行われるのだろう。

- ソンノ カ オヤコヤク コタン タ
sonno ka oyakoyak kotan ta
本当に も あちこち 村 に
- 175 レラカン ネ ヤ
rerakar_ ne ya
流行病がはやる だ とか
- パ オヤン ヤク アイェ ヒ
pa oyan yak a=ye hi
伝染病 上陸する と (私)言う こと
- アヌ コロ アナン ア コロカ
a=nu kor an=an a korka
(私)聞き ながら いる(私) だ けれど
- アコタヌ アナクネ
a=kotanu anakne
(私の)村 は
- ネプ カ エペッチウ カ ソモ キ ノ
nep ka epetciw ka somo ki no
何 も 障り も ない で
- 180 ピリカ コタン ネ ワ
pirka kotan ne wa
良い 村 であっ て
- アウタリ トウラノ
a=utari turano
(私の)村人 と一緒に
- ネプ アエラナク カ ソモ キ ノ
nep a=eranak ka somo ki no
何 (私)を苦勞する も しない で
- オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
年を取る(私) もの だっ たところ
- アイェ セコロ
a=ye sekor
(私)言う と
- 185 シネ アイヌ イソイタク セコロ。
sine aynu isoytak sekor.
ひとり 男 物語る と
- 本当にあちこちの村に
- 流行病や
- 伝染病が上陸したというのを
- 聞いても
- 私の村は
- 何の災いもなく
- 無事でした。
- 村人とともに
- 何の苦勞もせずに
- 年を取りましたので
- お話ししますと
- ひとりの男が物語りましたとさ。